



「韓国旅行の気分を味わってほしい」と話す（左から）鈴木さん、佐藤さん、藍原さん

## 桜の聖母短大×いちい

# 「お弁当で韓国気分」

桜の聖母短期大と、スーパーを展開するいちいが共同開発した2種類の弁当の販売が1日、いちい全店舗で始まった。メニューを考案した学生は「半年間かけて考えたお弁当を多くの人に食べてほしい」と話している。2014（平成26）年に始まった取り組みで、学生は授業の

### メニュー2種類考案

一環で11班に分かれてメニューを考案。「韓国弁当」と「ま鞠弁当」が採用された。韓国弁当は韓国のり巻「キンパ」やキムチ、ナムル、ヤンニョムチキンが入っている。鞠弁当は3種類のまり型のにぎり飯のほか、きんぴらゴボウ、ブロッコリーのごまあえなどが入っており、野菜を

豊富に取れる。韓国弁当を考えたのは生活科学科食物栄養専攻2年の鈴木美悠さん（19）と佐藤由佳さん（19）、藍原由徒さん（19）、高野香穂さん（19）。鈴木さん、佐藤さん、藍原さんは「新型コロナウイルスで旅行はできないが、お弁当を食べて韓国旅行の気分を味わってほしい」とアピールした。鞠弁当は卒業生が考案した。弁当の販売は30日まで。価格はいずれも538円。